

## 堺市南区政策会議 3つの方向性 評価シート

方向性	子育て・教育、健康長寿などにおける南区ウェルビーイング総合プロジェクト					
目標	誰一人取り残さない、個に寄り添った「最大多様・最大幸福」のサービスを提供し、「ひとがいきいきと輝き、幸せで、心身ともに健やかに暮らせる都市（まち）」の実現					
評価指標	指標	単位	年度	目標値	実績値	達成度 (実績値/ 目標値)
	みなみ健活キャラバンで実施した個別健康相談における18歳以上64歳以下の割合	%	R6	32	73.5	230%
			R5	29	32.9	113%
	個別での健康相談数 (みなみ健活キャラバン、訪問・所内面接等)	件	R6	950	1426	150%
			R5	900	1228	136%
	生き抜く力を育てるワークショップ事業の実施件数	件	R6	13	18	138%
			R5	10	10	100%
	セカンドステップ事業（子ども向けのソーシャルスキルを学ぶプログラム）を実施している園の数	園	R6	8	8	100%
			R5	6	8	133%
	個に応じた最適な事業・サービスなどをプログラムとして提供する体制の構築	件	R6	110	160	145%
R5			100	150	150%	
特定健康診査受診率	%	R6	45	31.6% (R5)	70%	
		R5	40	31.3% (R4)	78%	
R6年度 自己評価						
指標に対する評価	南区健康長寿推進プロジェクトにおいては、啓発の機会が少ない若い世代が多く参加するイベントでみなみ健活キャラバンを実施することにより、18歳から64歳までの個別健康相談数の実績値が目標値を大幅に上回った。南区子どもウェルビーイングシステム事業では、2つの評価指標ともに目標値を達成した。さらに、プロジェクト・事業・サービス等についても、数を伸ばすことができた。					
指標以外の取組に関する評価	子育て分野においては、指標を設定した以外の前向き子育て支援事業や子どもの育ち応援講演会等についても当初の予定どおりに実施した。					
多面的評価	共創性	妥当性	効率性			
	SENBOKUスマートコンソシアム企業等や、学校、こども園、地域の支援者など、各事業において関係機関と共に連携して実施している。	公民連携や様々なプログラムの実施などの多様な取組みが、こどもたちの自己肯定感の向上をはじめ目標達成に寄与している。	幅広い世代の来場者が見込まれるイベントにてみなみ健活キャラバンを展開することにより、保健センター事業で出会う機会の少ない若い層へ効率的に啓発ができた。また、子育て事業においても、学校、子ども園、地域の支援者等と連携して実施することで区役所が単独で行うよりもより効果的に実施できている。			
総合評価	評価指標 6 つの内、5 つの指標において100%以上の達成度を上げることができ、令和6年度においても、目標達成に向けて着実な取組ができた。					
構成員の評価						
目標達成に向けた取組に対する評価	評価	(A～Dで評価)	A	B	C	D
	コメント	次ページ参照	非常に評価できる	評価できる	あまり評価できない	全く評価できない
			60%	33%	7%	-

## 子育て・教育、健康長寿などにおける南区ウェルビーイング総合プロジェクト 構成員コメント

評価	コメント
A	特定健康診断受診率の項目については改善が求められるが、5つの指標で100%以上の達成度を上げることができている。十分に目標を達成できていると考える。
A	健活キャラバンは手がかかると思いますが、保健所がマチナカに出てくる素晴らしい事業です。住民ひとりひとりに向き合った結果が1000という数字に表れています。
A	達成度を見ると非常に評価できる。しかし、誰一人取り残さないという視点で見ると、子育て世代や若年層のウェルビーイングを正しくとらえ、施策を進めていたかという点で疑問が残る。
A	本分野に対する、地域の理解・賛同の更なる向上に繋がるよう、継続的・発展的な取り組みを期待します
A	若い世代も、多かれ少なかれ健康に不安や問題を抱えている人は多いと思うので、幅広い世代に開かれた取り組みを進めていっていいと思った。また子ども支援について、これを機に学校や家庭だけでなく、地域全体で子育てをしていく風潮にできたらいいと思った。
A	南区のウェルビーイングにつながる取り組みは評価できるとりわけ、子どもたちの自尊感情の醸成を図ることを目的とした「南区子どもプラットフォーム事業」
A	子育て・教育支援や健康促進に関する多様なプログラムを通じて、南区のウェルビーイングの向上に大きく貢献されたと思います。特に、若年層を対象とした個別健康相談の実施件数が目標を大きく上回ったことや、子どものソーシャルスキル育成事業などが着実に展開された点は高く評価できます。また、地域の支援者や教育機関、企業等との連携により、より効果的な取組となっており、共創の視点でも成果が見られます。今後は、障がいのある子どもや外国人家庭など、支援の届きにくい層にも配慮した取組や参加促進の仕組みを構築することで、「誰ひとり取り残さない」体制をさらに強化されることを期待します。
A	自分自身が生活しながら、広報で健康についての幅広い情報を得ることができた。検診の受診率アップのために特典をつけるなどの工夫があると良いのではないかな。
A	南区役所が実施している本事業での取り組みが、泉北ニューデザイン推進室をはじめとした本庁部局の取組の下地となっていると感じた。
B	目標値が妥当なのかは別にして、結果に満足することなく取組の強化を期待します
B	生き抜く力を育てるワークショップ、セカンドステップ事業は、小学校で取り組まれている「自尊感性を高める教育」や中学校での「自己存在感」向上への取組など子どもたちが主体的に生きていくための教育に繋がっていき一貫性が評価できると思います。 ただ、その前の0歳児から3歳児までは親自身が子育ての不安からくる他の子どもと比べる相対的な子育てではなく、ポジティブ・ディシプリンの親が子どもとコミュニケーションを深めながら成長の価値を子どもと感じ合っていく子育てをもっと知る機会を増やす必要があります。例えば産婦人科や病院へのPRや経験者のインタビュー記事などがホームページに見られるようにするなど。 ・土日を使って家族でビッグアイで宿泊しながら2時間コースを行うプランなど
B	健康相談の伸びに比して、特定健診受診につながっていないことが課題か。 相談により意識が向いた時点で特定健診の予約につながるような取組を期待している。 価値観・生活の多様化が一層進む社会において、SSTは、特性に関わらず必要になってくる。登園先に関わらず、関心の高い層が受講できる機会をつくっていただきたい。
B	今後も地域のニーズを柔軟に取り入れながら、子どもから高齢者まで一緒に楽しめるイベントを増やしていただき、健康で活気あふれるまちづくりに寄与していくことを期待しております。
B	幅広い世代で自分自身の健康に関心もてるような取組を推進して結果につながったことは大いに評価できる。学校から見て、南区は児童福祉の面で大変よく動いていただいていると思うが、堺市全体として見ると不安が大きい。「誰一人取り残さない」の実現に向けて、教育・福祉・保健・医療のつながりの中でこどもの健やかな育ちや、保護者の孤立した子育ての解消を、よりきめこまやかに進めていっていただきたいと願う。
C	健康相談の比率を觀ても、関心が高いことが解る。しかし、重要なことは、本人が改善しようとする気持ちを起こすことであり、個別対応が可能な運動型の健康支援事業を考えていくことが評価に繋がると云える。会議のなかでも具体的な対策案がでてこないのが現状であると観ている。科学的根拠に基づく支援事業を立ち上げることが急務と云える。

方向性2 子育て・教育、健康長寿などにおける南区ウェルビーイング総合プロジェクト

No.	1				2				3			
事業名	南区健康長寿推進プロジェクト				南区子どもウェルビーイングシステム事業				個に応じた最適な事業・サービスなどをプログラムとして提供する体制の構築			
所管課	南保健センター				南・子育て支援課				南保健福祉総合センター			
目的	市民主体の健康づくり等の取り組みを実施し、生活習慣病予防や重症化予防を図り区民の健康レベルの向上につなげる。また、誰一人取り残さない、個に寄り添った「最大多様・最大幸福」のサービスを提供する。				・子ども虐待の未然予防に重点をおき、子育て世代の子ども虐待に対する意識のボトムアップを図る。 ・子どもの成長過程において切れ目のない包括的な支援を提供する。				南区民による事業への関心や課題意識の向上、事業参加・健診受診・サービス利用の拡大			
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>「みなみ健活キャラバン」の実施。多くの区民が来場するイベント等で啓発の機会が少ない18歳から64歳までの若い世代や健康無関心層、ハイリスク者へのアプローチを関係機関と連携し実施する。</li> <li>運動習慣や介護予防等に関する各種事業や健康相談の実施</li> <li>健康に関する情報発信</li> <li>テレビ通訳の活用、子育て健康に関する資料の翻訳等による外国人区民への情報提供</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもを支援 ・子どもの自己肯定感、自己有用感の向上を支援するプログラムを展開すると同時に、プログラムを展開できる職員のスキルの向上にも取り組む。</li> <li>養育者への支援 ・法改正で禁止された体罰についての理解を促し、子どもの安心安全が守られることでウェルビーイングが向上することを理解し、養育者自身が安心安全の中での子育てができるように支援していく。</li> <li>学校等・地域支援者へ支援 ・区内教育機関等と子ども支援に取り組む『南区子どもサポートプラットフォーム』において、区内教育機関との連携を強化し、地域支援者と情報共有することによって地域の子どもの支援につなげていく。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>南区民のウェルビーイングにつながる子育て、健康長寿に係るプロジェクトや事業を精査して、世代や属性別に体系化・データベース化し、南区役所内関係機関で共有する。</li> <li>南区民のニーズや課題に応じてウェルビーイングの実現をサポートするため、南区役所内関係機関がデータベースから事業・サービス等をプログラムとして区民に提供する。</li> </ul>			
評価指標①	みなみ健活キャラバンで実施した個別健康相談における18歳以上64歳以下の割合				生き抜く力を育てるワークショップ事業の実施件数				南区民のウェルビーイングにつながる子育て、健康長寿に係るプロジェクト・事業・サービス等の数			
年度	R4	R5	R6	R7	R4	R5	R6	R7	R4	R5	R6	R7
目標値		29.0%	32.0%	35.0%		10	13	15		100	110	120
実績値	25.7%	32.9%	73.5%		6	10	18		—	150	160	
評価指標①及び目標値設定理由	<p>【評価指標設定理由】</p> <p>みなみ健活キャラバンは、保健センターで啓発の機会が少ない若い世代へのアプローチの場とするため、若い世代の参加割合を評価指標として設定。</p> <p>【目標値設定理由】</p> <p>令和4年度の先行実施の数値をもとに設定。</p>				<p>【評価指標設定理由】</p> <p>子どもたちが自分の将来を前向きに考え、自らの力で未来を切り開いていくために欠かすことのできない自尊感情の醸成を図ることを目的に、南区子どもサポートプラットフォームとして講師を派遣し、直接子どもたちに向け実施している「生き抜く力を育てるワークショップ」の実施件数を評価指標として設定。</p> <p>【目標値設定理由】</p> <p>令和4年度の実績の数値をもとに設定。</p>				<p>【評価指標設定理由】</p> <p>適切かつ円滑に事業を実施するために、多岐にわたるプロジェクトや事業、サービスの中から区民のウェルビーイングにつながるものを南区役所内保健福祉関係機関で精査し、事業のベースとして整備した情報量を評価指標として設定。</p> <p>【目標値設定理由】</p> <p>現在、南区役所や堺市役所関係部局、外郭団体等で実施しているプロジェクト・事業・サービスの数をもとに算出。事業に取り組む初年度の令和5年度は100程度とし、毎年10ずつ情報量を増やす想定で設定。</p>			
評価指標②	個別での健康相談数 (みなみ健活キャラバン、訪問・所内面接等)				セカンドステップ事業(子ども向けのソーシャルスキルを学ぶプログラム)を実施している園の数				特定健康診査受診率			
年度	R4	R5	R6	R7	R4	R5	R6	R7	R4	R5	R6	R7
目標値		900	950	1000		6	8	10		40%	45%	50%
実績値	833	1228	1426		3	8	8		29.9(R3)	31.3(R4)	31.6(R5)	
評価指標②及び目標値設定理由	<p>【評価指標設定理由】</p> <p>イベントや健康教育等の集団でのアプローチの場と通じて、個々の健康状態に寄り添ったアプローチをすることで健康レベルの向上につなげるため、個別での健康相談数を指標と設定。</p> <p>【目標値設定理由】</p> <p>令和4年度の相談数をもとに令和7年度の目標を設定し、毎年50名ずつ増加させる想定で設定。</p>				<p>【評価指標設定理由】</p> <p>子ども自身自身がソーシャルスキルを身につけ、感情のセルフコントロールとコミュニケーションの取り方を学ぶ「セカンドステップ事業」を実施することで、子どものウェルビーイングの向上をめざすことから、本事業の実施園の数を評価指標として設定。</p> <p>【目標値設定理由】</p> <p>令和4年度の実施数をもとに令和7年度の目標を設定し、毎年2園ずつ増加させる想定で設定。</p>				<p>【評価指標設定理由】</p> <p>南区民の健康への関心や課題意識が向上し特定健康診査につながった場合に数値として現れる特定健康診査の受診率を評価指標として設定。</p> <p>【目標値設定理由】</p> <p>「堺市南区基本計画」「堺市基本計画2025」のKPI(重要業績評価指標)と同じ数値を設定。令和7年度に50%にすることを目標に、現状の実績値から毎年同じ割合で増加させる想定で設定。</p>			
令和5年度実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>「みなみ健活キャラバン」(みどりのつどい、雑貨マルシェのMANAマルシェ、緑道ウォーキング等)</li> <li>新規事業(はいかつ講座、フレイル予防教室)、既存事業の内容や対象の見直し(ロコモ予防教室等)</li> <li>個別健康相談(みなみ健活キャラバン、訪問・所内面接等)</li> <li>駅での2次元コード付きポスター掲示、ICTの活用、乳幼児健診等でのプラスアルファの情報提供</li> <li>テレビ通訳の活用、歯科保健に関する資料の翻訳</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>南区子どもプラットフォーム事業(小中学校との学校連携、子どもの生き抜く力を育てるワークショップ事業、南区教育機関との連携研修)</li> <li>前向き子育て支援事業(ポジティブ・ディシプリン・プログラム)</li> <li>セカンドステップ事業</li> <li>子どもの育ち応援講演会</li> <li>父親支援事業(南区ぱぱてらす事業、育休カフェ)</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>行政や法人など組織の垣根を越えた情報管理方法、区民への情報提供方法について、南区役所内保健福祉関係機関で検討。</li> <li>情報管理・情報提供方法として、堺市ホームページの電子申請システム「手続き判定ナビ」を活用することに決定。</li> </ul>			
令和6年度実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>「みなみ健活キャラバン」(みどりのつどい、帝塚山学院大学祭、緑道ウォーキング)</li> <li>軽度認知障害(MCI)・フレイルの理解と予防行動普及への講演会</li> <li>南海高野線・泉北高速鉄道電車内での2次元コード付き特定健診受診勧奨ポスターの掲示、ICTを活用した情報発信</li> <li>テレビ通訳の活用、歯科保健に関する資料の翻訳</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>南区子どもプラットフォーム事業(小中学校との学校連携、子どもの生き抜く力を育てるワークショップ事業、南区教育機関との連携研修)</li> <li>前向き子育て支援事業(ポジティブ・ディシプリン・プログラム)</li> <li>セカンドステップ事業</li> <li>子どもの育ち応援講演会</li> <li>父親支援事業(南区ぱぱてらす事業)</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>「子育て、教育、健康長寿などにおける南区ウェルビーイング総合プロジェクト事業一覧」をとりまとめ、電子申請システム「手続き判定ナビ」に事業を反映させて、堺市ホームページで公開。</li> <li>南区役所内関係機関に来られる区民に「手続き判定ナビ」のQRコードを案内するとともに、広報みなみに掲載し周知を図った。</li> </ul>			